



LOMの運動に使える

KANCHIKU PROPOSAL


第72回関東地区大会

防災・災害対応連携委員会の事業「みんなで結くべ！BOS
AIベース～イノベーションで解き明かす防災の新章～」に
ご参加いただきありがとうございます。

この資料は、LOMの本年度や次年度の運動構築に向けた提案書です。
LOMの防災意識の向上や有事に備えてLOM内のネットワークの強化に
関する運動の例会や事業に使えます。

議案作成や基本方針、所信などのヒントとしてご利用ください。





有事に備えることにおける 現状の課題

首都圏では、首都直下地震や南海トラフ大地震といった大規模な自然災害に加え、近年は異常気象による気象災害の激甚化が問題となっています。これらの災害は、広範囲にわたる甚大な被害を引き起こす可能性があり、未然に広域的な支援体制を確立し、地域間の連携を強化する必要があります。

課題の解決に向けた目的

産官学民の地域連携を強化することにより、関東圏内の地域全体が「自助・共助・公助」により、万が一の発災に備えることのできる共存共栄の支援体制を整備することを目的とします。

今回ご参加いただいた事業について

「自助」、「共助」、「公助」の三本柱を軸に、防災に関わる企業、NPO団体、行政が、それぞれの専門性を活かしたブース出展を通じて、市民に災害対策の重要性を伝え、体験・体感の機会を提供します。これにより、災害発生時の効果的な対応と、共存共栄の防災ネットワークの構築を目指します。

今回の掛け合わせ

自助の促進 : 市民自身が災害時に自分や家族を守るための知識と技術を身につける

×

共助の強化 : 災害時には地域社会が一丸となって支援し合う文化の構築を目指します

×

公助の有効活用 : 公的機関と市民との協働を促進します



防災・災害対応連携委員会のここまでの運動のご説明

3/9(土) @北茨城市民ふれあいセンター

「レジリエンス・ビジョン～次世代の防災とネットワークの展望～」

関東地区協議会と連携するパートナーと共に、今後起こりうる大規模自然災害に備えた災害ネットワークの強化を図り、迅速に回復する強さとしなやかさを向上させることを目的とし事業を実施しました。

年間推進事業

「防災ネットワークの強化推進計画」

関東地区協議会内の防災ネットワークの構築を行い、平時より有事に備えて連携を強固にすることを目的とし、防災アプリ「リスクロ」の導入・利用促進を行っております

防災・災害対応連携委員会からLOMの皆さまへ こんな運動に使えるよ！のススメ

3/9(土) @北茨城市民ふれあいセンター

「レジリエンス・ビジョン～次世代の防災とネットワークの展望～」

・防災アプリ「リスクロ」を使った防災訓練を目的とした事業

7/6(土) @栃木県栃木市

「みんなで結くべ！BOSAIベース～イノベーションで解き明かす防災の新章～」

・VR地震体験やAR浸水体験を通して自助について学ぶ事業

・寄付マッチングプラットフォームStockBaseや公益社団法人Civic Forceなどから共助について学ぶ事業



お問い合わせはこちら！

防災・災害対応連携委員会

委員長 小出 昶司

TEL : 090 - 2422 - 1799

Mail : tkc.urawa@gmail.com